

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

西 区

【特性】▶西区は広大な緑の空間を抱える荒川、桜並木の美しい鴨川やびん沼川が巡り、大宮花の丘農林公苑や錦乃原桜草園などがあって、自然環境に恵まれた季節の花々も豊かな「水と緑と花のまち」です。また、祭りなど伝統芸能が今も親しまれ、地域文化が息づいたまちでもあります。

都市基盤・環境

区域の東部には国道17号新大宮バイパスが南北方向に、北部には国道16号西大宮バイパスが東西方向に伸びており、西区と大宮駅周辺地区を結ぶさいたま春日部線やさいたま上福岡所沢線とともに道路体系の骨格を形成しています。また、JR川越線によって大宮駅周辺地区を経て東京と結ばれています。

区の中央部は、JR川越線を挟んで住宅を中心とする市街地が広がっており、その周辺は



大宮花の丘農林公苑

雑木林や農地が残る緑の多い地域となっています。特に、区の西を流れる荒川沿岸は近郊緑地保全区域*に指定されており、まとまった緑地や優良農地が広がると同時に、スポーツ・レクリエーション施設もある憩いの場となっています。今後はこれらの豊かな緑の保全とさらなる活用が求められます。

JR川越線の指扇駅周辺地区は、身近な商業機能の集積する区民生活の拠点となっていますが、区域が広いこともあって、駅周辺と各地区を結ぶ交通利便性の向上が強く求められています。コミュニティバスが運行されるようになって一定の改善が図られましたが、一層の充実が必要です。また、団地が開発された地区や区画整理が進行中の地区では生活基盤が比較的整備されていますが、区南部を中心に駅や主要施設を結ぶ交通や生活道路、下水処理施設などの整備が遅れている地区もあり、充実が求められています。果樹栽培などの農業も盛んな西区ですが、スプロール*化が進んでいる箇所も見られ、農地と住宅地との調和も課題となっています。

現在、鉄道の北側、区役所を含む一帯で区画整理事業が進められており、新駅も設置されることから、区民の交流や日常生活における新たな拠点として、役割を発揮していくことが期待されています。

地域資源

区内には荒川や鴨川などの大きな河川のほか、桜並木が整備されたびん沼川などの水辺や雑木林がありますが、これに加え、東部の三橋総合公園や鴨川みずべの里、西部の荒川沿いの西

遊馬公園、南部の錦乃原桜草園、北部の大宮花の丘農林公苑など、特色ある公園が多いことも区の魅力となっています。また、秋葉さら獅子舞や指扇餅搗き踊りなど市指定無形民俗文化財である民俗芸能が今も親しまれ、神社仏閣など地域固有の歴史・文化資源が保存・継承されています。

しかし、西区の歴史を伝えるこれらの資源も、一部には十分活用されていないものもあり、区の魅力向上に向けて、まちづくりに生かしていく視点が求められます。

コミュニティ

地域コミュニティの温かさ、活発さは西区の特徴の一つとなっています。今後は、コミュニティの力を自立的なまちづくりに生かしながら、地域文化の伝承と創造、豊かな自然環境の保全、子育てや高齢者の支援などに取り組めるよう、その仕組みづくりを進めていくことが重要です。



西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区

第5部

西区の将来像

豊かな自然と歴史文化を活かす すべての人と生活にやさしい うるおいあるまちづくり

— 愛着と誇りを持てる 自立的な地域社会を目指して—

水と緑と花が象徴する豊かな自然環境、それに囲まれたうるおいある住環境、歴史に根ざした地域文化、地域コミュニティの温かさなど西区の特性が調和したまちを実現するとともに、地域住民による主体的な取り組みを基礎として、すべての人々が共に生きるまちづくり、協働によるまちづくりを進め、区民が心豊かに誇りをもって住み続けられるまちを実現します。

まちづくりのポイント

1 安全で、安心して暮らせる基盤の整備

- 歩道や街灯などの充実やバリアフリー*のまちづくり、鉄道駅や区役所など主要施設を結ぶ道路・交通ネットワークの形成などによる、安心して暮らせる生活基盤づくり
- 災害や犯罪からの安全の向上
- 生活利便性の向上と自然環境保全のため
の下水処理施設の普及、公園やコミュニティ施設など公共施設が身近に利用できる環境整備による生活基盤の充実
- JR川越線の新駅と区役所を中心とした地区における新たな拠点づくり



馬宮コミュニティセンター

2 活力ある区づくりに向けた環境の整備

- 生活に密着した商業、都市農業など、区の特色を生かした産業の育成
- 区の特色を生かした学習活動やスポーツ、健康づくりの機会の充実
- 三橋総合公園、鴨川みずべの里、西遊馬公園、錦乃原桜草園、大宮花の丘農林公苑など、西区を象徴する特色ある公園を生かした交流の場づくり
- 地区の魅力向上に向けた、豊かな自然と歴史文化にふさわしいまちの景観の保全、文化財や史跡の活用と維持、保存のための仕組みづくり
- 市民参画のまちづくりに向けた、ボランティア活動に関わる情報拠点とネットワークの形成



三橋総合公園屋内プール



健康福祉センター西楽園

3 子育て世代のライフスタイルにあった保健・医療・福祉、教育の充実

- 共働き世帯の増加と少子化の流れに対応し、区民による支え合いの仕組みなども取り入れた、仕事と家庭を無理なく両立できる子育て支援と医療の充実
- 余裕教室などを利用した多世代交流の機会づくりや子どもの活動機会の充実

4 高齢者が生き生きと生活できるまちの実現

- 高齢者が社会活動に参加できる機会や高齢者の健康づくりの充実
- 高齢者の介護サービス体制の充実、地域住民や民生児童委員などの連携・協力などを通じた、高齢者の自立した生活を見守る仕組みや環境の整備

5 環境と共生したまちづくりの推進

- 雑木林や川、貴重な動植物などの豊かな自然を残し、生かすまちづくり
- 自然環境と調和したまちづくりに向けた、農地の保全と休耕地の有効活用
- 市民参加による自然環境保全活動の展開

■ 人口の見通し

項 目	面積 (a) (km ²)	人 口 (b)		人口密度 (b/a)	
		平成 17 年 (人)	平成 25 年見通し (人)	平成 17 年 (人 / km ²)	平成 25 年見通し (人 / km ²)
西区 (A)	29.14	82,911	87,000	2,845	3,000
さいたま市 (B)	217.49	1,185,777	1,268,000	5,452	5,800
市全体に占める割合 (A/B)	13.4%	7.0%	6.9%	—	—

注1：面積は、国土地理院「平成16年 全国都道府県市区町村別面積調」による。

注2：平成17年の人口は、住民基本台帳及び外国人登録による10月1日現在の人口。平成25年見通しは概数。

注3：端数処理の関係上、区ごとの「市全体に占める割合」を合計すると100にならないことがあります。

西 区

北 区

大宮区

見沼区

中央区

桜 区

浦和区

南 区

緑 区

岩槻区